

視聴覚教育

NO. 390

発行日 25. 2. 28

発行 岡崎市AVL

編集 現職研修委員会
学習情報部

第10回ふるさと岡崎メディアコンクール結果発表

自然や歴史、教育、文化に関する映像教材や、マルチメディア教材を募集した「ふるさと岡崎メディアコンクール」に、今年度は二百二十三作品の応募がありました。厳正、公平な審査の結果、次のように入賞作品が決定いたしました。

●生涯学習部門

【最優秀賞（教育長賞）】

「美しい野鳥」

岡崎市戸崎町 小塚久美子

【優秀賞】

「大提灯まつり」

岡崎市宇頭町 鈴木 功

【優良賞】

「家康行列」

岡崎市上地町 増井 秀雄

【入選】

「僕らのまちのグランドゴルフ」

岡崎西高等学校放送部 代表 磯村 彩葉

●学校教育部門

【最優秀賞（教育長賞）】

「生平で受け継がれる 祭りと地づき唄」

生平小学校現職教育部

代表 河合美智代

「乗り物にのろう」

福岡小学校 院南 考幸

【優秀賞】

「コンパスで三角形を書こう」

秦梨小学校 富樫 和美

「マット遊び名人になろう!!」

藤川小学校 松藤 真

【優良賞】

「家康ゆかりの寺社を支える人々」

大樹寺小学校 川本 祐二

「ミシンの使い方をマスターしよう〜準備〜」

六ツ美南部小学校 山本 佳愛

【入選】

「御田扇祭 〜20年ぶりのおうぎさん〜」

六ツ美中部小学校 鈴木 広樹

「とんび ア・ラ・カルト」

根石小学校 緒方 涼子

「モダンテクニクを学ぼう！

デカルコマニー&スパッタリング」

東海中学校 太田 真喜

「伊賀川の今と昔」

梅園小学校 河上 翔太

「書写の基本」

南中学校 鈴木 啓吾

「ビンゴゲーム」

南中学校 伊藤 研治

「一億をこえる数」

六ツ美西部小学校 鳥居 典子

「かんようくで作文」

六ツ美西部小学校 神野 裕美

「Do you like bananas?」

本宿小学校 高木 理人

「めざせ!!なわとび名人」

なわとびカードコンプリートへの道」

六ツ美南部小学校 近藤 真行

●児童生徒作品部門

【最優秀賞（教育長賞）】

「アサガオの花の色の不思議」

竜海中学校 杉山 杏那

「備えよう地震 〜未来の主役は私たち〜」

竜海中学校パソコン部 鳥居 智香

【優秀賞】

「木工職人 〜工房なかだの挑戦」

岡崎東高等学校放送部 代表 本多 修

「幽霊脱出劇」

竜海中学校パソコン部 渡邊 竜彦

【優良賞】

「出合橋 〜今昔〜」

生平小学校四年 代表 浅井 夏輝

「酸とアルカリで絵を描こう」

竜海中学校パソコン部 林 貴之



視聴覚用語

『ガラパゴス化』

主に電子マネー機能やカメラなどを搭載した日本の携帯電話を形容する表現として登場した。日本の携帯電話は国内のニーズに応える技術には長けているが、海外市場では重視されていない機能もあり、国際競争力に乏しいことが問題視されている。

【入選】

「大樹寺調査隊」

大樹寺小学校放送委員会一班

代表 遠田 琳夏

「皆既月食の謎」

葵中学校 高橋 創志

「浄瑠璃姫伝説を追って〜岡崎・矢作の物語〜」

葵中学校 代表 松原 綾音

「小美の十一面観音様」

南中学校 齋藤 雅泰

「シジュウカラが来たよ」

生平小学校五年 代表 三浦 優斗

「そうじ道具を正しく使おう」

井田小学校四班 代表 成元 杏菜

「ごみのすてかたのやくそく」

六ツ美西部小学校二班 代表 竹中 晴香

「ふれあい朝市」

岡崎北高等学校放送部

代表 坂東ちひろ

「植物巡り」

竜海中学校 竹本 淳

「デジタルガイドブック」

〜藤川ガイドになろう〜

藤川小学校六年

審査は、作品の制作技法、教材の必要性、用途を対象としました。ここに挙げた優秀作品は、制作者の許諾を得た上で、閲覧・貸出・配信ができるようにします。ご活用ください。入賞作品以外にも、地域に密着した素晴らしい作品がたくさんありました。意欲的に応募をしてください。ありがとうございます。

II レッツ・トライ II

「事例で学ぶ Netモラル」でモラル指導を

現在、携帯を始めとする小型情報端末によるトラブルが後を絶たない。そのため、教育現場では情報モラル教育の重要性が増している。しかし、実際にどう取り組んだらいいのか分からないと悩んでいる先生が多い。学習情報主任として、校内のどの先生方でも日常的に情報モラル指導ができるようにしたいと考えた。

OKリンクに導入されている「事例で学ぶ Netモラル」を使って授業を行った。OKリンクの「事例で学ぶ Netモラル 教師用」↓「45分指導教材」を順にクリックする（写真参照）と、教師のための指導資料（簡易な指導案、児童が使用するワークシート、授業のまとめに使うチェックシートが、それぞれPDFファイルでダウンロードできる。簡易指導案とワークシートがそろっており、誰でも簡単に授業を行うことができるので大変便利である。情報モラルの授業をどうしたらいいかよく分からないという先生には、ぜひ活用してもらいたい。



ICTのCは、コミュニケーションである。「Netモラル」を用いてICTを利用する際に起こりやすいトラブル事例を基に学習することで、今後の様々なトラブルを回避する能力を、児童・生徒たちに身につけさせたい。

（上地小学校 学習情報主任 樋田 進一）

ライブビューナーだよ

● 新規購入DVD教材の紹介

「アニメでわかる！インフルエンザ」

（小学生対象 15分）

「海上保安官が見た巨大津波と」

東日本大震災復興支援」

（中学生対象 118分）

「防災の備えと意識」

東日本大震災が残した教訓10カ条」

（中学生対象 22分）

「広島島の記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島」

（中学生対象 35分）

「長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎」

（中学生対象 37分）

「サル太郎はとびださない」

歩行者・自転車者のこうつうルール」

（小学生対象 15分）

「音楽の世界」

西洋音楽・日本音楽・作曲家への招待」

（小中学生対象 各30分）

● 「第11回全国こども科学映像祭」結果

「全国こども科学映像祭」は子供たちの「科学する心」を育む目的で開催されています。今年度は次の二作品が優秀な成績を収めました。

【文部科学大臣賞（最優秀作品賞）】（小学生部門）

「海の掃除機 アサリの力 パート3」

大樹寺小学校 五年 内田 悠雅

【佳作】（中学生部門）

「何色が咲くのかな？アサガオの花」

竜海中学校 一年 杉山 杏那